

ご使用に際し、この添付文書は必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

\* ; 2023年7月：使用上の注意改訂

第②類医薬品

鎮痛薬 **アセドリン**



使用上の注意

**してはいけないこと** ☒

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないこと

4. 長期連用しないこと

**相談すること** ■

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症	状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる	
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血	
精神神経系	めまい	
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中への痛み、過度の体温低下	

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診察を受けること。

症状の名称	症	状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。	

〔裏面につづく〕

【表面からのつづき】

皮膚粘膜眼症候群 (ステイプンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
* 薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューとなる、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。

3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時を避け、水又はお湯で服用すること。服用間隔は4時間以上おくこと。

年齢区分	服用量(1回量)	年齢区分	服用量(1回量)
15歳以上	2錠	15歳未満	服用しないこと

【用法・用量に関連する注意】

定められた用法・用量を厳守すること。

【成分・分量・はたらき】1日量6錠(2,040mg)中

成分	分量	はたらき
アスピリン	1,000mg	炎症を抑え、頭痛、歯痛、関節の痛みを抑えます。
アセトアミノフェン	670mg	また、発熱、悪寒の解熱作用も優れています。
無水カフェイン	90mg	痛みを抑える働きを助け、頭痛を和らげます。

添加物：乳糖水和物、カルメロースカルシウム、アラビアゴム末、ステアリン酸マグネシウム

【保管及び取扱上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (4) 使用期限(外箱記載)を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先  
製造販売元 西海製薬株式会社

住 所 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦192番地  
電話番号 0942-92-2303(代)  
受付時間 9:00~16:00(土、日、祝日を除く)